

競技上の注意

- (1) 小雨決行。試合の有無や日程の変更等は必ず本部（会場）で確認すること。
- (2) すべての試合をノーレット方式とする。
- (3) 試合前の練習はサービス（一人が左右2本ずつ）のみとする。
- (4) ファーストサービスの際は、セカンドサービス用のボールを身につけて行うこと。
- (5) プレーは連続して行われねばならない。プレーとプレーの間は25秒以内とする。
- (6) 体力消耗、痙攣等による試合中断は認めない。事故等による中断はレフェリーの判断による。
- (7) 選手の服装はテニスウェアとし、全国高体連服装規定に基づく。
- (8) 選手は試合中にコートを離れてはならない。
- (9) 選手は、ジャッジの発声とジェスチャーをすること。
- (10) ボールパーソンは各校1名を置くことを原則とする。
その際の服装は華美でないものとする（北信越・全国大会では選手と同様の服装）。
- (11) 今大会は MTO（メディカルタイムアウト）は適用しない。選手の健康と安全に対して万全を期すため「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」に準じて対応する。
 - ①監督は選手の体調管理に責任をもって対処する。
 - ②無理をさせず、選手の将来を考慮してレフェリーがリタイアを促す。
- (12) マナーを正しくすること。
 - ①携帯電話等はコートに持ち込まない。やむを得ず持ち込む場合は電源を切っておくこと。
 - ②応援について
 - ・コート1面全体を当該校1校で占拠することは禁止する。
 - ・その場でジャンプしたり、フェンスに触れたりしない。
 - ・コートの側面からの応援は禁止とする。
 - ・ファーストサービスとセカンドサービスの間は静粛にすること。
 - ・些細なことでも、選手・審判・ボールパーソンに直接プレッシャーを掛けるようなことが確認された場合、当該試合の当該校は応援を禁止とする。
 - ・技術的・戦術的な応援やその選手に直接アドバイスするような声掛け、またその声掛けに選手が反応するような場合はコーチングと見なし、応援した者は当該試合の応援を禁止とする。
 - ・部旗等は試合の妨げにならないようコートの端につけることとする。
 - ③タオルや水筒等の選手の持ち物は、本部で籠を準備したときのみコート後方に持ち込むことができる。
 - ④クラブハウスの使用は原則禁止とし、トイレや自販機の利用のみでの使用とする。
 - ⑤会場内のすべての場所で、公式練習以外でのボールを使った練習は禁止とする。
 - ⑥頭髪の加工やピアス等の該当者の出場については本部で判断する。
 - ⑦その他マナーを逸脱する行為が行われた場合は、顧問を通して学校が責任をとること。
- (13) 今大会は JTA 公式トーナメントコードオブコンダクトに違反した場合、1度目は警告、2度目は失格とする。悪質な場合はレフェリーの判断による警告なしの失格とする。なお、一度警告・失格の措置を取られた者は今大会期間中に回復することはできない。